

国連安全保障理事会

目次

- 1 国連安全保障理事会の概要
- 2 国連安全保障理事会と下部機関の構図
- 3 非常任理事国選挙における我が国の過去の選挙結果

1. 国連安全保障理事会の概要

1. 安保理の重要性

■ 国連安保理 = 国連の最重要機関

- 国際の平和及び安全の維持に主要な責任を負い、全加盟国に対し法的拘束力のある決定を行い得る唯一の機関。
- 平和に対する脅威、平和の破壊、侵略行為の存在の決定、制裁措置の決定、国連軍による行動、加盟国による武力行使の承認、事務総長選出(総会に勧告)、新規加盟国(総会に勧告)、ICJ裁判官選出(総会・安保理で選挙)なども担う。

2. 安保理の構成

■ 常任理事国(5か国): 中・仏・露・英・米

■ 非常任理事国(10か国):

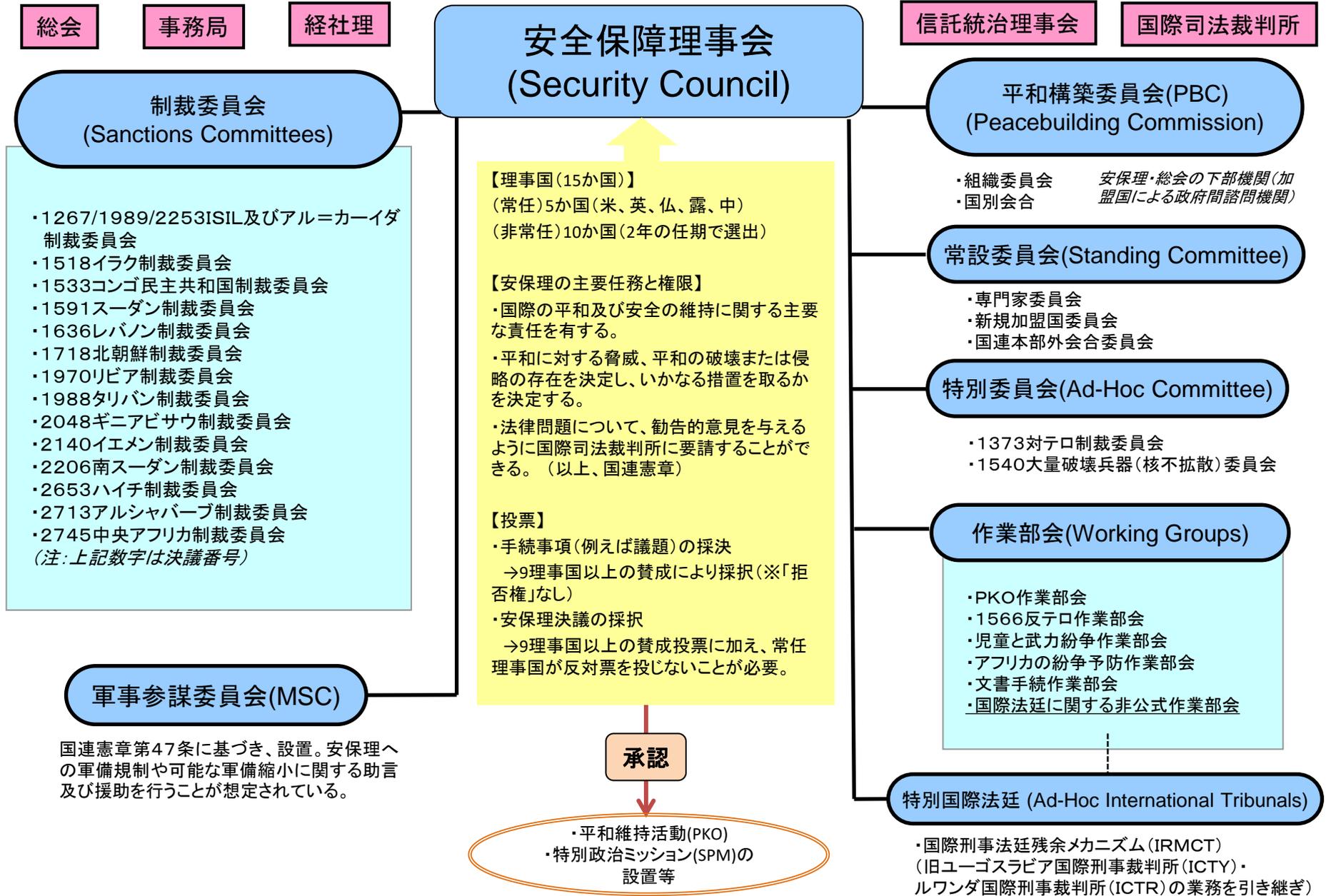
- ・アルジェリア、ガイアナ、韓国、シエラレオネ、スロベニア(任期:2025年末まで)
- ・デンマーク、ギリシャ、パナマ、パキスタン、ソマリア(任期:2026年末まで)

3. 非常任理事国の地位・権限

- 選挙により選出され、任期は2年で毎年5議席が改選。
- 任期満了後退任した国は引き続いて再選される資格はない。
- 安保理の決定事項に関する投票権を有するが、常任理事国が有する拒否権は有さない。



2. 国連安全保障理事会と下部機関の構図



3.非常任理事国選挙における我が国の過去の選挙結果

	西暦	当落	他の立候補国	得票
1	1957	当選	パナマ、カナダ、チェコスロバキア (注)現在と議席配分が異なる。	55
2	1965	当選	なし	98
3	1970	当選	なし	102
4	1974	当選	なし	121
5	1978	落選	バングラデシュ	(注1)
6	1980	当選	なし	141
7	1986	当選	インド	107(注2)
8	1991	当選	なし	158
9	1996	当選	インド	142(注3)
10	2004	当選	なし	184
11	2008	当選	イラン	158(注4)
12	2015	当選	なし	184
13	2022	当選	なし	184

(注1) 第1回(日本65票:バングラ84票)、第2回(日本61票:バングラ87票)、第3回投票開始前に 我が国は立候補を取り下げ。

(バングラデシュは125票を獲得し当選。)

(注2) 日本107票に対しインドは36票。

(注3) 日本142票に対しインドは40票。

(注4) 日本158票に対しイランは32票。